

Once upon a time, there was an old couple who were very close.

Although the couple wasn't very wealthy, they made their living by plowing fields and raising farm animals.

One day the old man, while looking at his horse, said to the old woman.

"Hey, honey, I'm thinking of exchanging this horse for something useful for us. What do you think?"

Then, the old woman responded with a smile.

"That's a good idea. Please do so. I am sure there's no mistake in anything you do."



The next morning, the old man rode on the horse and headed to the town.

After a while, the old man ran across a peasant pulling a cow along.

(Ho ho, that's a pretty nice cow. It can surely give me some good milk.)

The old man talked with the peasant and traded his horse for the cow.



むかし むかし、あるところに、とても なかのいい
おじいさんと おばあさんが すんでいました。

ふたりは ゆうふくでは ありませんでしたが、
はたけを たがやしたり、かちくを かったりして、
ほそぼそと くらしていました。

あるひ おじいさんは、いえで かっていた
いっとうの うまを みながら、
おばあさんに いいました。

「なあ、ばあさんや。このうまを、
なにか わしらの やくにたつものと、
こうかんしようと おもうのだが、どうだろうか」

すると おばあさんは、えがおで こたえました。

「それは いいかんがえですね。ぜひ そうしてください。
おじいさんの することに、まちがいは ないんですから」



よくあさ、おじいさんは さっそく うまに のって
まちへ むかいました。

しばらく いくと、おじいさんは、
うしを ひいた おひやくしょうさんに であいました。

(ほほう、なかなか いいうしだな。
こいつなら いいミルクが とれそうだ)

おじいさんは おひやくしょうさんと はなして、
うまと うしを とりかえました。

